

平成29年秋田県大雨災害に伴う 横手市ボランティアセンター対応状況

《横手市の被害状況》

被害区分	件数	備考（被害地域など）
人的被害：軽症	3	大森
床上浸水	211	横手、雄物川、大森
床下浸水	442	横手、平鹿、雄物川、大森、山内、大雄
半壊	4	横手、大森
道路冠水	34	
土砂崩れ	74	
その他	92	用水地決壊、農地等冠水、水路崩落など

※横手市発表（平成29年9月14日確定報より）

《横手市災害ボランティアセンターの設置》

◆災害発生からの動き

7月22日(土)～23日(日)

大雨による被害状況や要援護者世帯等の安否を確認する中で、災害ボランティアセンター(以下、災害VC)の設置を視野に入れる。横手市とも設置に向けた協議を行うことを確認。



7月24日(月)

横手市と協議を行い、災害VCを設置して特に被害の大きい大森地域を中心にボランティアによる支援活動を行うこととした。なお、協議には民生児童委員の代表者も加わっており、ニーズ把握などの協力を依頼した。

7月25日(火)

災害VCを設置し、その運営とボランティアによる支援活動を開始。初日は事前に横手市と活動先を調整し、横手市職員によるボランティアを被災世帯へ派遣した。(横手市職員によるボランティア活動はその後も継続して実施)

7月26日(水)～

多くのボランティアのご協力により、被災家屋での支援活動のほか、河川付近の遊歩道でのクリーンアップ活動などを行った。

8月1日(火)

災害VCを閉鎖。なお、閉鎖後も地域からのニーズや相談に対応し、必要な支援活動を行った。

◆設置期間

平成29年7月25日(火)～8月1日(水)

◆設置場所と主な役割

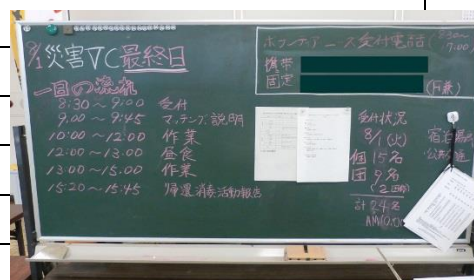
○災害VC本部（横手市社会福祉協議会本部内）
 …市本庁担当課との連絡調整、関係機関・マスクミ等との対外的な対応など

○災害VC大森支所（横手市大森地域局内）
 …被災者からの相談対応及びニーズ調査、災害ボランティアの受け入れと活動調整・派遣、市災害対策本部や市大森地域局担当課との連絡調整など



◆1日のながれ

時間	内容
7:30～ 8:30	スタッフ集合、スタッフミーティング、開設準備など
8:30～ 9:00	ボランティア受付
9:00～ 9:45	マッチング(活動調整)、オリエンテーション(作業内容などの説明)
10:00～12:00	送り出し(資材の配布、送迎)、作業
12:00～13:00	昼食・休憩、マッチング
13:00～15:00	送り出し、作業
15:20～15:45	送迎、資材の返却活動報告
15:45～17:00	資料・資材等の確認及び整理など
17:00～17:30	スタッフミーティング
随時	被災世帯からの相談対応、ニーズ調査(電話、訪問など)



◆ボランティア活動状況



月日	ボランティア活動件数	ボランティア受付件数	ボランティア派遣人数	スタッフ数
7月25日(火)	7	17	17	9
26日(水)	11	25	27	18
27日(木)	17	55	79	15
28日(金)	10	60	60	18
29日(土)	20	75	124	18
30日(日)	24	75	133	20
31日(月)	14	56	101	19
8月1日(火)	8	24	55	17
合計	111(※1)	387(※2)	596	134

※1…大森地域：109件、横手地域：2件 ※2…実人数：328人

◆ボランティアによる主な支援内容

屋内の掃除・片付け・泥出し、家財や畳等の運び出し、食器洗い、避難所からの引っ越しの手伝い、クリーンアップ活動(遊歩道のゴミ拾い、側溝の泥上げ)など

◆ボランティアの内訳（実人数）

○個人で活動されたボランティア

横手市	湯沢市	由利本荘市	羽後町	美郷町	秋田市	大仙市	仙北市	三種町
99	8	5	4	3	2	2	2	1
岩手県	宮城県	東京都	山形県	埼玉県	茨城県	千葉県	熊本県	合計
4	3	3	2	2	1	1	1	143

○団体で活動されたボランティア

団体数	人数	団体の概要
10	185	企業、奉仕団体、福祉事業所、高校、青年会議所、市役所など

《活動中の様子》



活動前に作業内容や注意事項などをボランティアへ説明しました。（オリエンテーション）



汚れた箇所を消毒しながら屋内の掃除をしてもらいました。



床板をはがした後の家屋で、床下の泥出しや洗浄を行いました。



屋内の片付けをしながら家具や畳などの運び出しも行いました。



横手市と連携しながら、一斉のニーズ聞き取りやクリーンアップ活動も行いました。



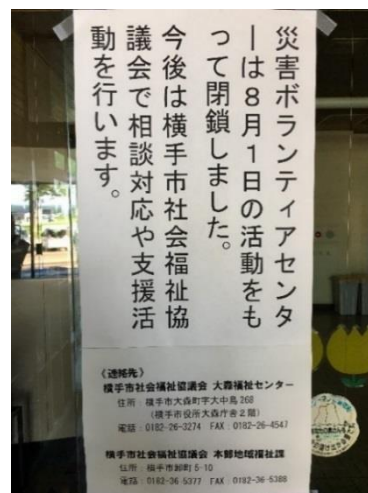
子どもたちも被災した世帯や地域のため、一生懸命に支援活動を行いました。

◆閉鎖後の対応

潜在しているものも含め、ニーズはまだあると予想されたものの、ボランティアによる作業がない時間も増えてきたため、8月1日をもって災害VCを閉鎖し、閉鎖後は社会福祉協議会の通常業務の中で相談対応や必要な支援活動を行いました。

○主な対応・支援活動

家屋の掃除や泥出し、漂流物の撤去、ごみ出し支援、家財等の搬入、災害により体調を崩された方への対応、各種情報提供など



《ボランティア派遣先の方とボランティアからの声》

○お一人暮らしの女性より（大森地域在住）

避難指示の放送がありましたが、自宅前には大量の水が押し寄せ、あっという間に腰の高さとなったため避難はできませんでした。家の中にも水が入り、畳などが浮いている中を2階に避難するだけで精一杯。停電で真っ暗の中を一人で過ごす夜はとても不安でした。

ボランティアのみなさんには、泥だらけとなった家の中の掃除や片づけをしてもらい大変助かりました。優しく声をかけてもらったこともうれしかったです。

○お一人暮らしの男性より（大森地域在住）

午前中は雨の影響はありませんでしたが、夕方になると側溝の水はあふれ、道路は川のようになり、家の中まで水が押し寄せてきました。更に家の後ろで土砂崩れが起き、家の中にも一気に流れ込んできて、トイレなどが土砂で埋もれてしまいました。もしその場所にいたらと思うと、今でも怖くなります。

ボランティアの方々には、私が生活できるようにと、一生懸命に家の中を片づけてくれたことに大変感謝しています。

○ボランティアの男性より（6日間活動していただいた高校生）

テレビで高齢者の大変そうな様子を見て、自分に何かできないかと考えていたときに、ボランティアを募集していることを知りました。進路を決める時期で勉強も大事でしたが、支援活動は今しかできないことなので、親と担任の先生の了解をもらって活動に参加しました。

実際に被災したお宅に行ってみると、テレビで見るよりもひどくて想像以上。どの作業も大変でしたが、重いものを運んだりごみの分別が特に大変で、この作業を高齢者が一人でするのは難しいのではと感じました。

被災された方々は、自分たちが大変な状況なのに、私たちに気遣いの言葉や飲み物などを出してくださり、反対に元気をいただきました。今後も自分にできることがあれば協力したいです。

各地から駆けつけていただいたボランティアをはじめ、義援金や物資提供、ニーズ調査などにご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。